

鉄道駅のバリアフリー化事例集

国土交通省 鉄道局
都市鉄道政策課
令和5年11月

01 鉄道駅総合改善事業（バリアフリー化事業）

- (1)【JR北海道】登別駅 …… 4
- (2)【三陸鉄道】宮古駅 …… 5
- (3)【あいの風とやま鉄道】越中大門駅 …… 6
- (4)【あいの風とやま鉄道】福岡駅 …… 7
- (5)【近畿日本鉄道】桜駅 …… 8
- (6)【近畿日本鉄道】高見ノ里駅 …… 9
- (7)【JR西日本】比良駅 …… 10
- (8)【JR西日本】新井口駅 …… 11
- (9)【JR九州】木葉駅 …… 12

02 鉄道施設総合安全対策事業 （ホームドア整備事業）

- (1)【東武鉄道】竹ノ塚駅 …… 14
- (2)【阪神電気鉄道】神戸三宮駅 …… 15
- (3)【JR西日本】西明石駅 …… 16

03 地域公共交通確保維持改善事業 （地域公共交通バリア解消促進等事業）

- (1)【伊予鉄道】港山駅 …… 18
- (2)【智頭急行】西粟倉駅 …… 19
- (3)【JR西日本】安土駅 …… 20

04 ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業 （交通サービス利便向上促進等事業）

- (1)【一般社団法人養老線管理機構】池野駅 …… 22
- (2)【JR九州】三股駅 …… 23
- (3)【近畿日本鉄道】法善寺駅 …… 24
- (4)【阪神電気鉄道】大開駅 …… 25
- (5)【JR西日本】福崎駅 …… 26

05 観光振興事業（公共交通利用環境の革新等事業）

- (1)【あいの風とやま鉄道】滑川駅 …… 28
- (2)【山陽電気鉄道】中八木駅 …… 29
- (3)【神戸新交通】魚崎駅 …… 30
- (4)【神戸電鉄】花山駅 …… 31

06 【参考】鉄道駅総合改善事業の概要

01 鉄道駅総合改善事業

(バリアフリー化事業)

駅改良と併せて行うバリアフリー施設等の整備

(1) JR北海道 室蘭線 登別駅総合改善事業

[駅の概要(整備前)]

所在地:北海道登別市

駅構造:2面3線の地上駅

利用者数(令和4年度):560人



[事業概要](事業期間:令和5年度~)

乗換こ線橋の新設とエレベーターの設置、バリアフリー設備整備及び新駅舎整備・現駅舎の内外装改修

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

整備前

※令和5年3月 バリアフリー基本構想策定

[課題]

- ・駅構内にエレベーターが設置されておらず、高齢者や障がい者を含む駅利用者が階段の昇り降りに苦慮
- ・現駅舎は1935年(昭和10年)から使用しており、待合室の広さが十分ではなく、繁忙期には混雑が発生

整備後

[効果]

- ・第1、第2乗降場から公共用通路までの間で移動等円滑化された移動経路を確保
- ・新駅舎整備及び現駅舎を待合スペースに改修することにより、繁忙期の混雑を緩和するとともに、地域交流拠点施設との連携強化



列車乗降時の状況



駅待合室



駅前広場



全体整備イメージ図



新駅舎イメージ図

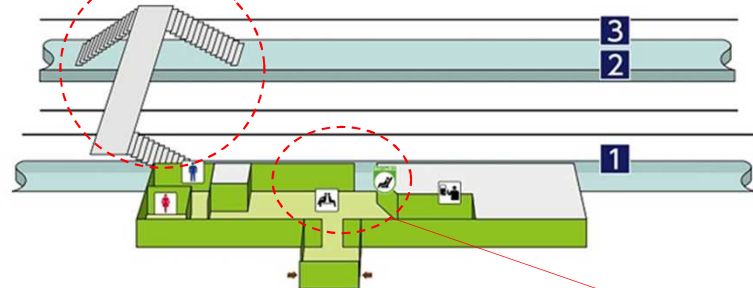


新駅舎内観イメージ図

登別駅

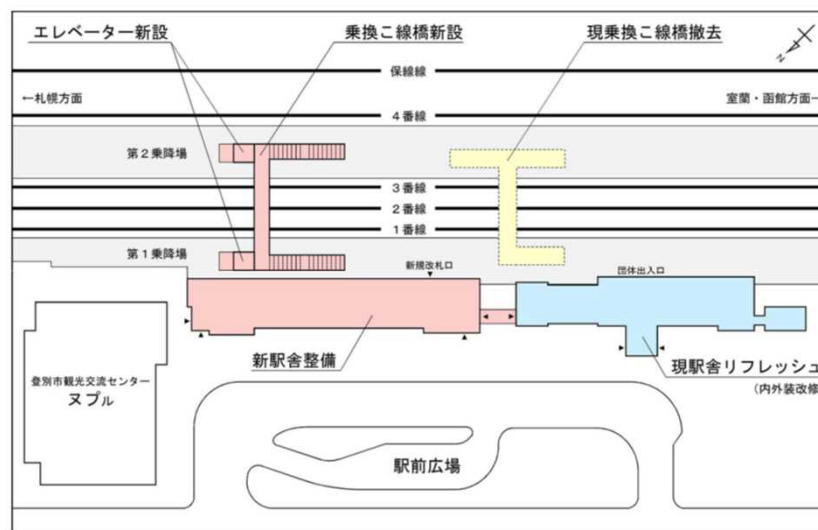
← 苫小牧方面

東室蘭方面 →



課題
移動経路の段差未解消

課題
待合室の狭隘



(2) 三陸鉄道 北リアス線 宮古駅総合改善事業

[駅の概要]

所在地: 岩手県宮古市

駅構造: 3面4線の地上駅

利用者数(令和4年度): 593人/日



[事業概要] (事業期間: 令和4年度～令和5年度)

既存跨線橋にエレベーター2基設置、誘導ブロック、転落防止柵等バリアフリー設備工事を実施し、車いす利用者や視覚障がい者の移動円滑化を図る。

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

整備前

※令和3年3月 バリアフリー基本構想策定

[課題]

・1番ホームと2番・3番ホームをつなぐ跨線橋の階段には車椅子用の昇降機が設置されているものの、エレベーターが設置されておらず、大型の荷物を携行する観光客や高齢者、障がい者等にとって利用しにくい環境となっている。



1番線ホームと跨線橋



2, 3番線ホームと跨線橋



階段昇降機

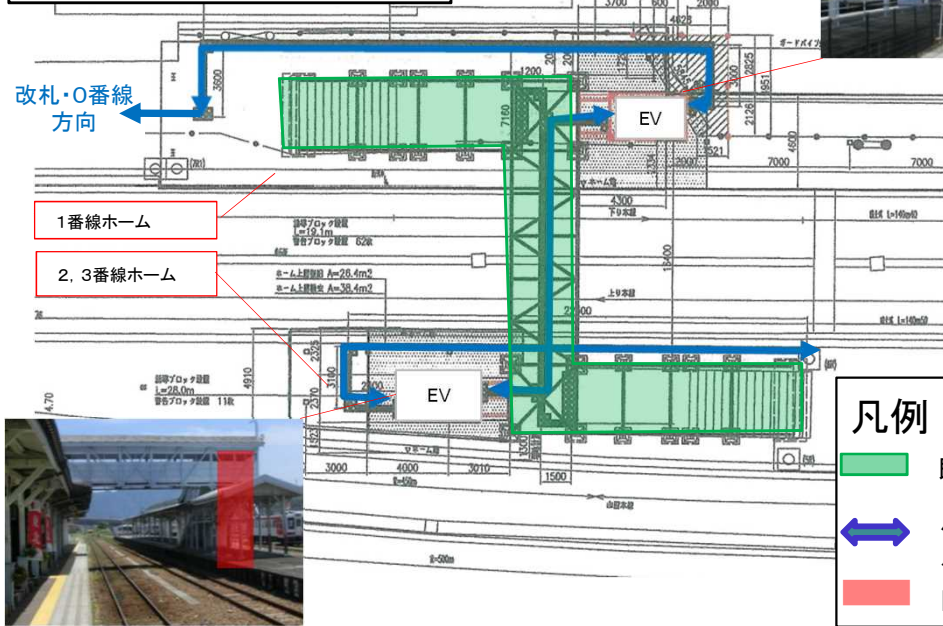
整備後

[効果]

・既存跨線橋にエレベーターを整備することで、移動や利用に係る利便性及び安全性の向上が図られるとともに、移動の制約を受ける方の外出機会の増加が期待される。
 ・宮古駅の交通結節点、拠点施設としての機能向上が図られる。

[事業概要詳細]

- ・エレベーターの設置(2基)
- ・誘導ブロックの設置
- ・転落防止柵(固定柵)



凡例

- 既設跨線橋
- ⇄ バリアフリールート
- EV設置位置



階段昇降機による移動は係員の操作が必須であり、利用者に待ってもらうなど不便をかけた。

2, 3番線ホームへの跨線橋にエレベーターが設置されていない。

(3) あいの風とやま鉄道 あいの風とやま鉄道線 越中大門駅総合改善事業

[駅の概要]

所在地: 富山県射水市

駅構造: 2面3線の地上駅

利用者数(令和4年度): 2,020人/日



[事業概要](事業期間: 令和5年度~)

段差解消のためのエレベーター・跨線橋等の整備を行い、越中大門駅のバリアフリー化を図る。

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

整備前

※令和4年3月 バリアフリー基本構想策定

[課題]

- エレベーターが未整備のため、大きな荷物を持った旅行者や高齢者等にとって移動が困難であるとともに、車椅子での移動ができない。



跨線橋(富山方面側)



跨線橋(金沢方面側)



EV跨線橋設置予定場所

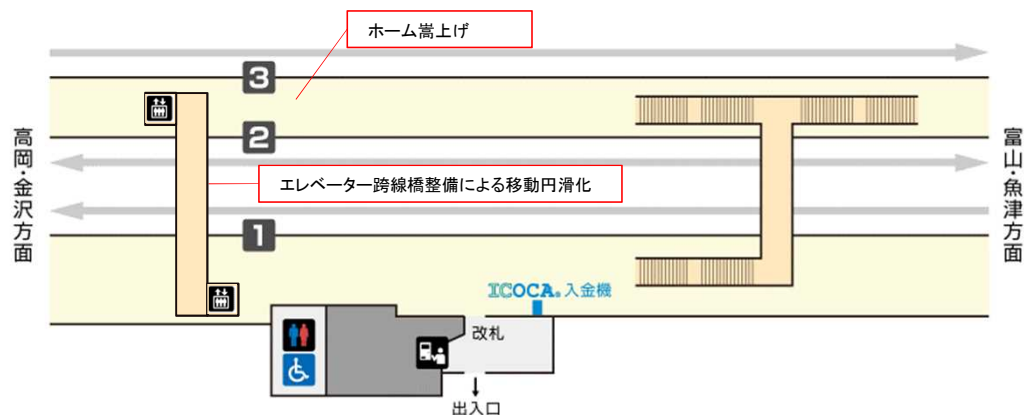
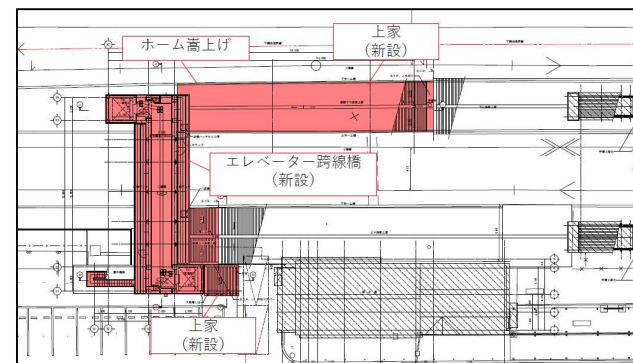
整備後

[効果]

- エレベーター・跨線橋の整備により利用者の移動円滑化が図られる。

[事業概要詳細]

- エレベーター・跨線橋整備、ホーム嵩上げ、上家整備 等



(4) あいの風とやま鉄道 あいの風とやま鉄道線 福岡駅総合改善事業

[駅の概要]

所在地: 富山県高岡市

駅構造: 2面3線の地上駅

利用者数(令和4年度): 1,878人/日



[事業概要](事業期間: 令和4年度~)

段差解消のためのエレベーター・跨線橋等の整備を行い、福岡駅のバリアフリー化を図る。

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

整備前

※令和4年3月 バリアフリー基本構想策定

[課題]

- エレベーターが未整備のため、大きな荷物を持った旅行者や高齢者等にとって移動が困難であるとともに、車椅子での移動ができない。



跨線橋(富山方面側)



跨線橋(金沢方面側)



EV跨線橋設置予定場所



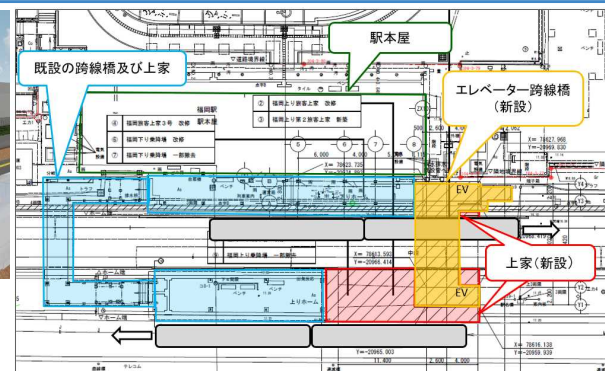
整備後

[効果]

- エレベーター・跨線橋の整備により利用者の移動円滑化が図られる。



イメージパース



[事業概要詳細]

- エレベーター・跨線橋整備、上家整備 等

(5) 近畿日本鉄道 湯の山線 桜駅総合改善事業

[駅の概要]

所在地: 三重県四日市市

駅構造: 2面2線の地下駅舎

利用者数(令和4年度): 2,776人/日



[事業概要](事業期間: 令和元年度)

各ホームへの構内外併用EVの新設、障がい者対応型トイレの新設および内方線の設置等を行うことで、駅をバリアフリー化した。

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

整備前

[課題]

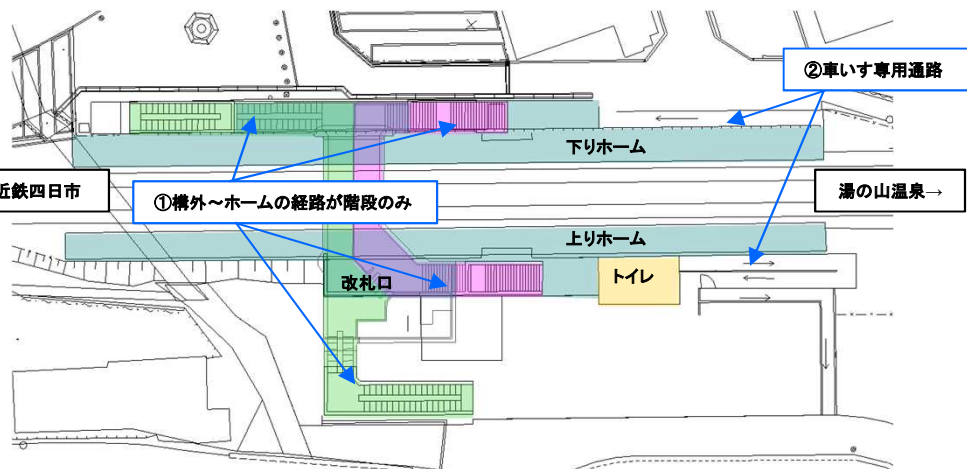
- ① 構外から地下改札口を経由してホームに行く経路が階段のみ
- ② 車いすご利用者用のスロープが別途あるが係員の呼び出しが必要
- ③ 障がい者対応型トイレおよび内方線が未整備



地下改札口



車いす専用通路



整備後

[効果]

- ・ 構内外併用EVおよび障がい者対応型トイレを設置することにより、駅をバリアフリー化した。
- ・ 内方線の設置により安全性が向上した。



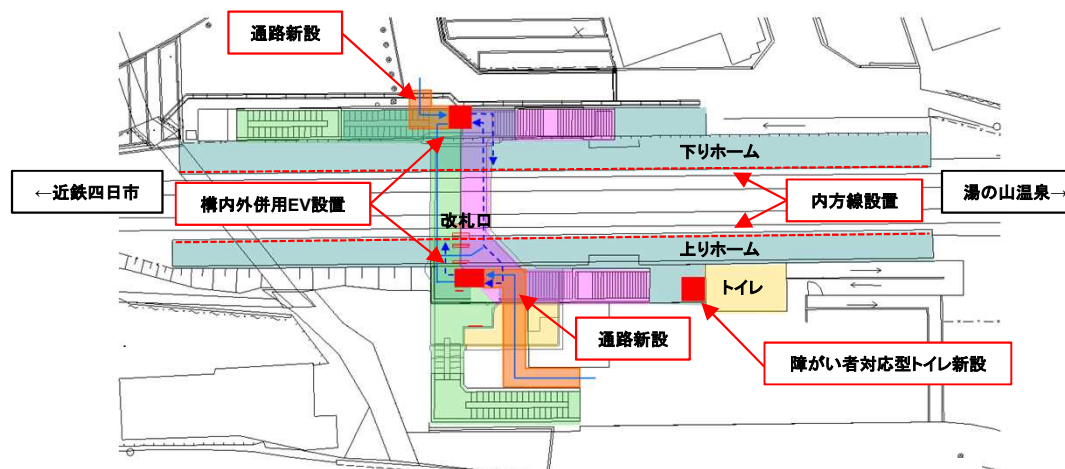
下り構外EV入口



EV(地下改札階)



障がい者対応型トイレ



→ 構外から改札までの経路
→ 改札からホームまでの経路

(6) 近畿日本鉄道 南大阪線 高見ノ里駅総合改善事業

〔駅の概要〕

所在地:大阪府松原市

駅構造:2面2線の地平駅舎

利用者数(令和4年度):5,721人/日



〔事業概要〕(事業期間:令和元年度~令和2年度)
上下ホームを結ぶ跨線橋付きEV2基の新設、スロープの改修、障がい者対応型トイレの新設および内方線の設置等を行うことで、駅をバリアフリー化した。

〔活用補助メニュー〕
鉄道駅総合改善事業費補助

整備前

※平成25年3月 バリアフリー基本構想策定

〔課題〕

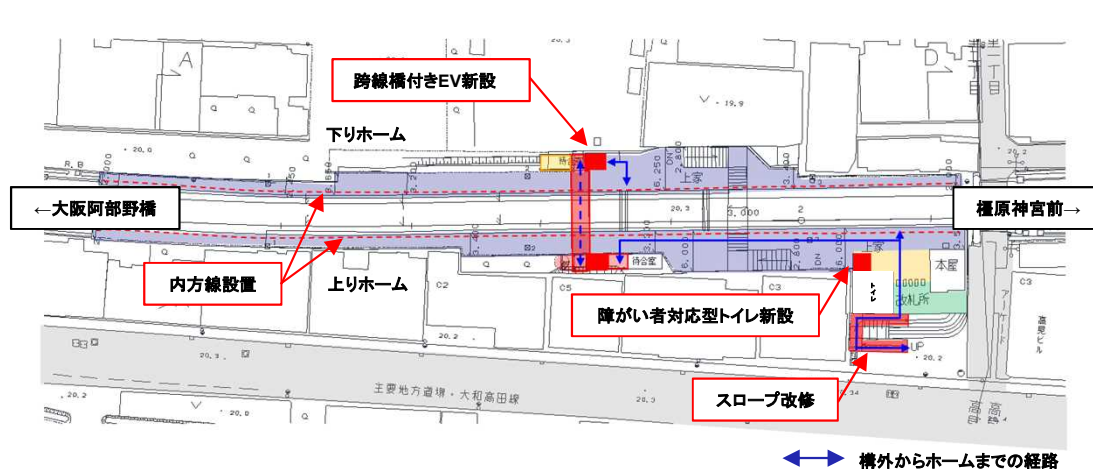
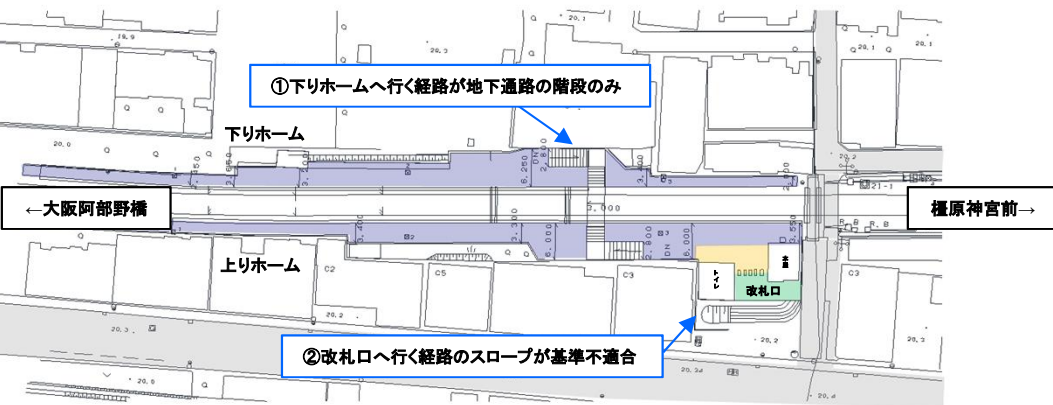
- ①下りホームへ行く経路が地下通路の階段のみ
- ②構外から改札口へ行く経路のスロープが基準不適合
- ③障がい者対応型トイレおよび内方線が未整備



整備後

〔効果〕

- ・跨線橋付きEVおよび障がい者対応型トイレの設置、スロープの改修等により駅をバリアフリー化した。
- ・内方線の設置により安全性が向上した。



(7) JR西日本 湖西線 比良駅総合改善事業

[駅の概要]

所在地: 滋賀県大津市

駅構造: 高架駅、島式1面2線

利用者数(令和4年度): 2868人



[事業概要](事業期間: 令和3年度～令和4年度)

EV新設にあわせて、券売機の蹴込み改修、階段2段手摺化、バリアフリートイレ新設、内方線付き点状ブロック、ホーム端部柵整備により移動円滑化を図る。

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

整備前

※平成23年3月 バリアフリー基本構想策定

[課題]

- ・段差解消されていない(EV未設置)
- ・バリアフリートイレ未整備
- ・音声音響装置未整備
- ・券売機蹴込み未整備
- ・内方線未整備
- ・ホーム端部柵未整備



1階コンコース

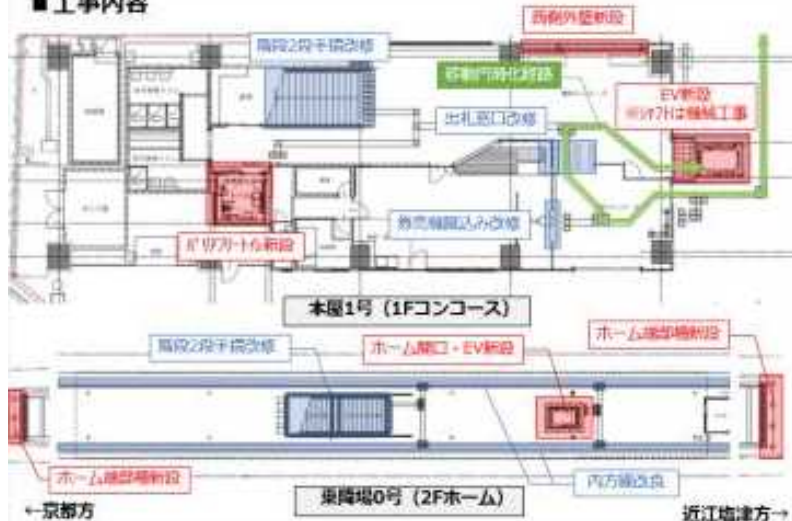


ホームEV箇所



券売機蹴込み改修

■工事内容



整備後

[効果]

- ・EV整備により安全性・利便性向上
- ・バリアフリートイレ化による利便性向上
- ・音声音響装置及び券売機蹴込み整備による利便性向上
- ・内方線点字ブロック及びホーム端部柵整備による安全性向上



ホームEV



階段2段手摺化



バリアフリートイレ新設



1階コンコース



1階コンコース



券売機蹴込み改修

(8) JR西日本 山陽本線 新井口駅総合改善事業

しんいのち

[駅の概要(整備前)]

所在地: 広島県広島市

駅構造: 2面2線の橋上駅

利用者数(令和4年度): 13,518人/日



[事業概要](事業期間: 令和5年度~)

広島市が駅北側の立体横断施設を整備(バリアフリー化)するとともに、JR西日本が上り側柵内EVを整備することにより、利用者の利便性向上を図る。

[活用補助メニュー]

鉄道駅総合改善事業費補助

整備前

[課題]

- 山陽本線上り側エレベーターが未整備(設置スペースがなく整備困難)
- 券売機周辺がバリアフリー基準に不適合
- 柵外階段 2段手すり未整備



上りホーム

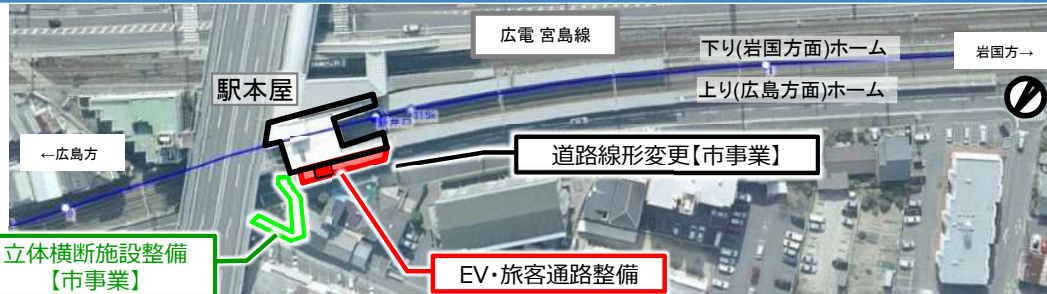


改札口

整備後

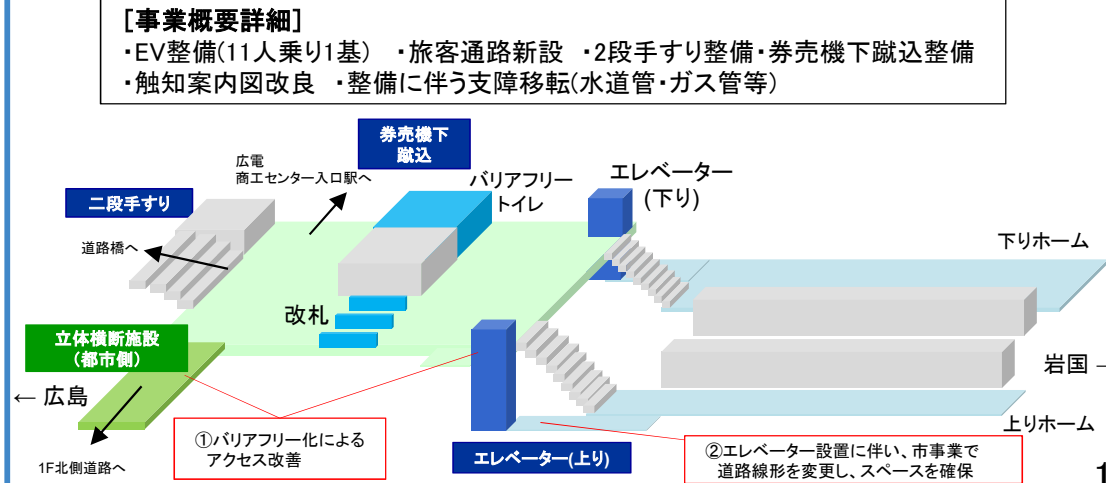
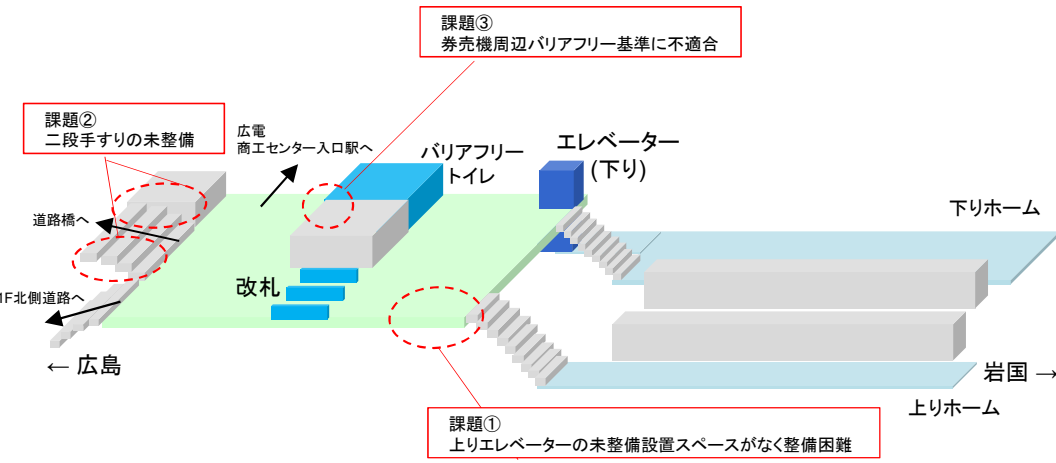
[効果]

- バリアフリー化によるアクセス改善を図る。
- バリアフリー化によるサービスレベル・利便性の向上を図る。
- 市の立体横断施設整備と合わせて実施することで、バリアフリー効果の最大化を図る。



[事業概要詳細]

- EV整備(11人乗り1基) ・旅客通路新設 ・2段手すり整備・券売機下蹴込整備
- 触知案内図改良 ・整備に伴う支障移転(水道管・ガス管等)



(9) JR九州 鹿兒島本線 ^{このは}木葉駅総合改善事業

〔駅の概要〕

所在地: 熊本県玉名郡玉東町

駅構造: 2面2線の地上駅

乗車人員(令和4年度): 333人/日



〔事業概要〕(事業期間: 令和4年度～令和5年度)
玉東町により、令和5年3月にバリアフリー基本構想が策定され、まちづくりの核となる木葉駅についてもエレベーター等のバリアフリー化施設の整備を行うことで利便性向上を図る。

〔活用補助メニュー〕

鉄道駅総合改善事業費補助

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

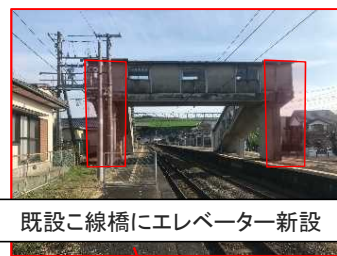
地域公共交通確保維持改善事業費補助金

整備前

※令和5年3月 バリアフリー基本構想策定

〔課題〕

- ・改札口から2ホームへはこ線橋を渡る必要があり、段差未解消。
- ・2番線の使用停止に伴う、ホーム上の安全柵の未整備。
- ・車いす利用者及び視覚障害者、聴覚障害者の設備が未整備。



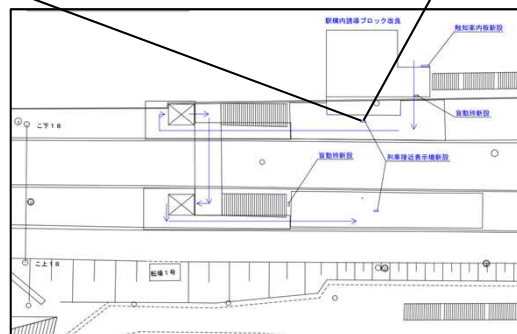
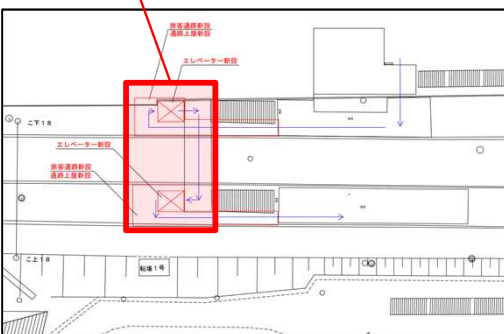
既設こ線橋にエレベーター新設



改札口から1ホーム



こ線橋を渡って2ホームへ

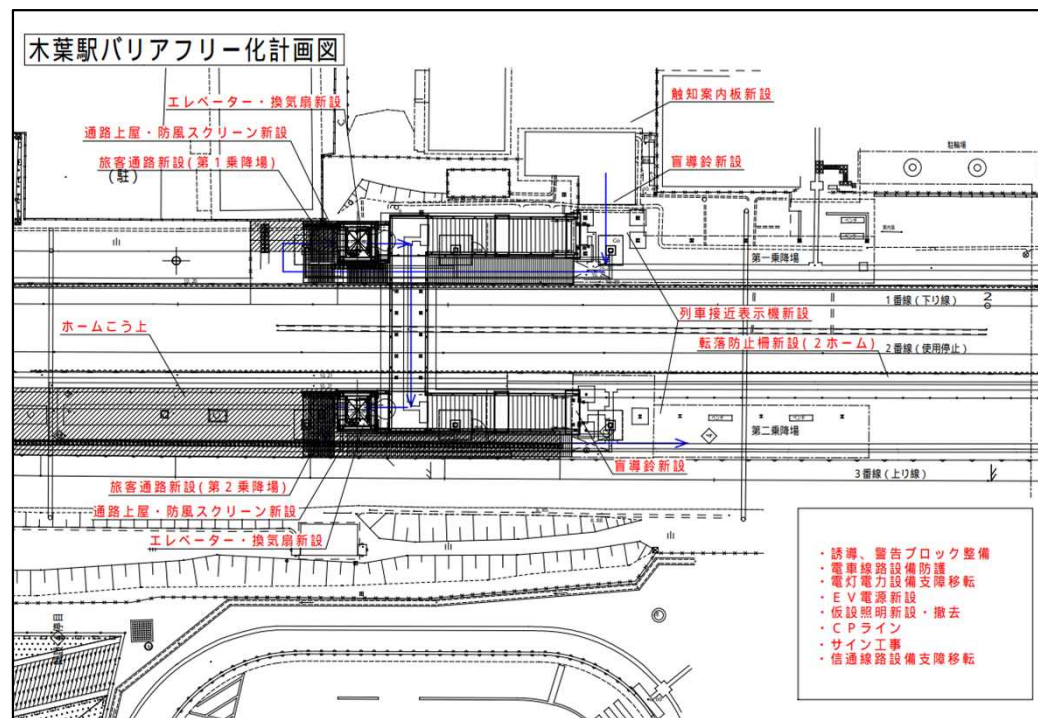


- ・既設こ線橋にエレベーター未設置のため1ホームから2ホームへの移動が不便。
※エレベーター整備に伴う旅客通路及び上屋を新設し、利便性向上。
- ・駅内の誘導ブロック、触知案内板、盲導鈴、列車接近表示機等未整備。

整備後

〔効果〕

- ・エレベーター整備により、段差解消がされ、利便性の向上
- ・2番線使用停止による、安全柵の設置による安全性の向上(転落防止)
- ・ホームこう上、盲導鈴、触知案内板、列車接近表示機等の新設による利便性の向上



02 鉄道施設総合安全対策事業

(ホームドア整備事業)

(1) 東武鉄道 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅 ホームドア整備事業

[駅の概要]

所在地: 東京都足立区

駅構造: 1面4線の高架駅

利用者数(令和4年度): 63,092人/日



[事業概要] (事業期間: 令和2年度～令和4年度)

東武スカイツリーライン竹ノ塚駅にホームドアを設置し、ホーム上の安全性向上及び鉄道の安全・安定輸送を確保する。

[活用補助メニュー]

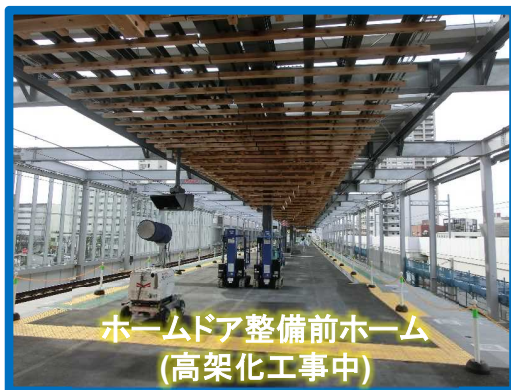
鉄道施設総合安全対策事業費補助

整備前

[課題]

➢ 多くのお客様がご利用される高架化後の駅ホームにおいて、列車との接触やホームからの転落が危惧された。

※ 竹ノ塚駅は、足立区が施行する都市計画事業として連続立体交差化工事を進めており、高架化に合わせてホームドアを整備することとした。



駅構内図



ホームドアの設置

整備後

[効果]

➢ 列車との接触防止ならびにホームからの転落防止により、ホーム上における安全性の向上が図られた。
➢ 列車との接触やホームからの転落に伴う輸送障害の防止により、安全・安定輸送の確保が図られた。



[事業概要詳細]

➢ ホームドアの整備(7両 1・2番線)

* ホームドア以外の鉄道施設は連続立体交差化事業で整備

** 本事業は、沿線自治体の補助制度(「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助金」、「東京都鉄道駅総合バリアフリー推進事業費補助金」)も活用し整備を実施した。

(2) 阪神電気鉄道 本線 神戸三宮駅 ホームドア整備事業

[駅の概要]

所在地: 兵庫県神戸市

駅構造: 2面3線の地下駅

利用者数(令和4年度): 98,937人/日



[事業概要] (事業期間: 平成30年度～令和3年度)

神戸三宮駅1～3番線にホーム柵を設置し、利用者の安全性向上を図る。
1、3番線 腰高式、2番線 昇降ロープ式

[活用補助メニュー]

地域公共交通確保維持改善事業費補助金
鉄道施設総合安全対策事業費補助

整備前

[課題]

「1日の平均的な利用者数が10万人以上の駅について、可動式ホーム柵を整備する」とされたが、神戸三宮駅はホーム柵が未整備であった。



神戸三宮駅1番線



神戸三宮駅3番線



神戸三宮駅2番線

整備後

[効果]

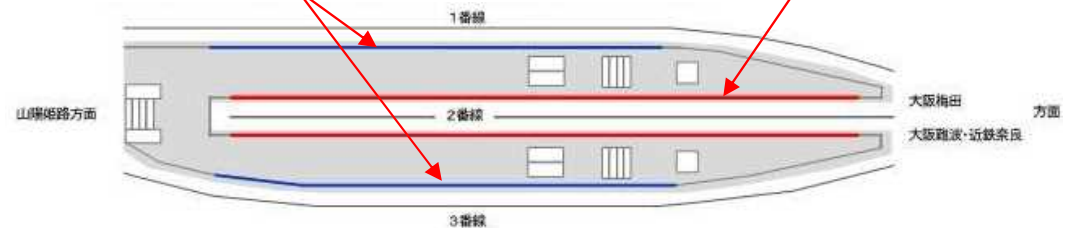
- ホーム柵整備により安全性が向上。
- お客様から「安全性が高くなり、安心して利用できる」とのご意見をいただいている。



1、3番線 腰高式ホーム柵



2番線 昇降ロープ式ホーム柵



2番線は、阪神車両(3扉車)と近鉄車両(4扉車)が停車するため、開口幅の大きい昇降ロープ式を整備

(3) JR西日本 山陽本線 西明石駅 ホームドア整備事業

[駅の概要]

所在地: 兵庫県明石市

駅構造: 2面3線の橋上駅

利用者数(令和4年度): 57,096人/日



[事業概要](事業期間:平成30年度~)

既設のホーム5番線(1面2線)・6番線(1面2線)のホームにおいて、可動式ホーム柵(昇降式)を整備する。

[活用補助メニュー]

地域公共交通確保維持改善事業費補助金
鉄道施設総合安全対策事業費補助

整備前

[課題]

- ホーム柵未整備による旅客転落の危険性あり。
- 上記に伴い、安全・安定輸送への影響あり。



#5, 6 ホーム現状

整備後

[効果]

- ホーム上の旅客転落防止及び利用に係る安全性の向上。
- 安全・安定輸送の確保。



5番線・6番線: JR神戸線のりば

03 地域公共交通確保維持改善事業

(地域公共交通バリア解消促進等事業)

内方線付き点状ブロックの整備等

(1) 伊予鉄道 高浜線 みなとやま 港山駅 内方線付き点状ブロック整備事業

[駅の概要]

所在地: 愛媛県松山市

駅構造: 1面2線の地上駅

利用者数(令和4年度): 286人/日



[事業概要](事業期間: 令和4年度)

内方線付き点状ブロック及び視覚障害者誘導用ブロックを設置することにより、視覚障害者の安全の確保を図る。

[活用補助メニュー]

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

整備前

[課題]

- ・駅の無人化により、誘導等の対応が困難。
- ・ホーム及び通路に視覚障害者誘導用ブロックが未整備。



入口付近



改札付近



ホーム

下り線

旧駅務室

上り線

無人駅のため誘導が困難

駅全体に視覚障害者誘導ブロックが未整備

整備後

[効果]

- ・ホーム及び通路に、内方線付き点状ブロック・視覚障害者誘導用ブロックを設置することにより、視覚障害者の安全の確保を図った。



入口付近



改札付近



ホーム

下り線

旧駅務室

上り線

ホーム: 内方線付き点状ブロックを整備

通路: 視覚障害者誘導用ブロックを整備

(2) 智頭急行 智頭線 ^{にしあわくら} 西栗倉駅 列車接近表示器(警光灯)整備事業

[駅の概要]

所在地: 岡山県英田郡西栗倉村

駅構造: 1面1線の地上駅

利用者数(令和3年度): 6人 / 日



[事業概要](事業期間: 令和2年度～令和3年度)

ホームに列車接近表示器(警光灯)を設置することにより、駅を利用する聴覚障がい者及び高齢者を含む旅客と列車の接触事故を防止し、安全性の向上を図る。

[活用補助メニュー]

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

整備前

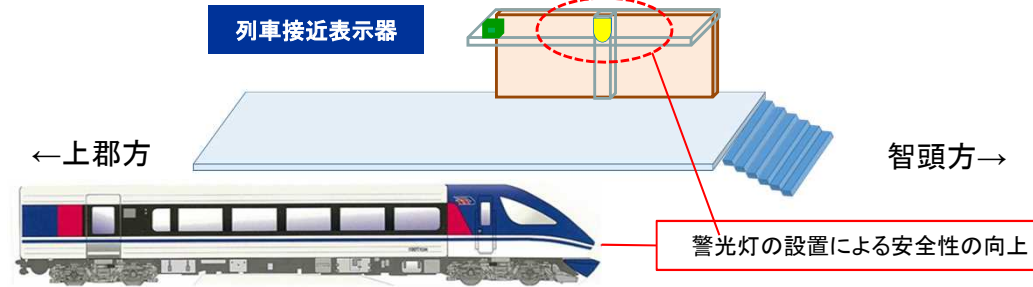
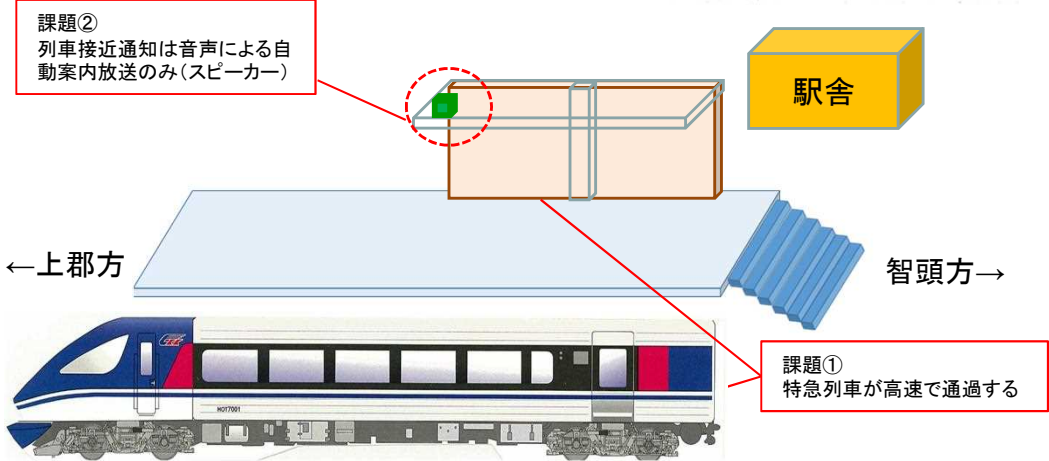
[課題]

- ・一日26本運行する特急列車が約80km/h～125km/hで高速通過する駅であり、ホーム上での接触事故が発生するリスクが高い。
- ・無人駅であるが、旅客への列車接近通知は音声による自動案内放送のみで、聴覚障がい者に対応する整備は未整備である。

整備後

[効果]

- ・列車接近表示器(警光灯)を設置し、ホーム上の旅客に視覚的なアプローチでより効果的に列車の接近を知らせることにより聴覚障がい者のみならず、利用者に多い高齢者を含む旅客との接触事故を未然に防ぎ、安全性の向上を図る。



駅を利用する聴覚障がい者及び高齢者を含む旅客と列車の接触事故の危険を軽減し、安全性が向上した。

(3) JR西日本 東海道本線 ^{あづち} 安土駅バリアフリー化設備等整備事業

[駅の概要]

所在地: 滋賀県近江八幡市

駅構造: 2面3線の橋上駅

利用者数(令和4年度): 4,038人/日



[事業概要](事業期間: 令和3年度～令和4年度)
内方線付き点状ブロック整備により安全性向上を図る。

[活用補助メニュー]
地域公共交通確保維持改善事業費補助金

整備前

[課題]

- ・ホームの点字ブロックがJIS規格ではなく、かつ内方線が整備されていない。
- ・端部柵が整備されていない。



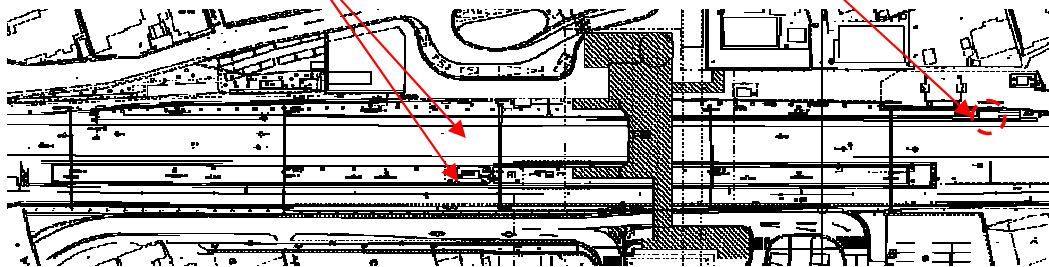
点字ブロック
(既存不適格)



端部柵未整備

課題①内方線が未整備

課題②端部柵無し



←米原方

京都方→

整備後

[効果]

- ・内方線付き点状ブロック整備により、視覚障がい者のホーム上での位置を認識しやすくなり、安全性が向上。
- ・端部柵により転落リスクの低減が図られ、安全性が向上。

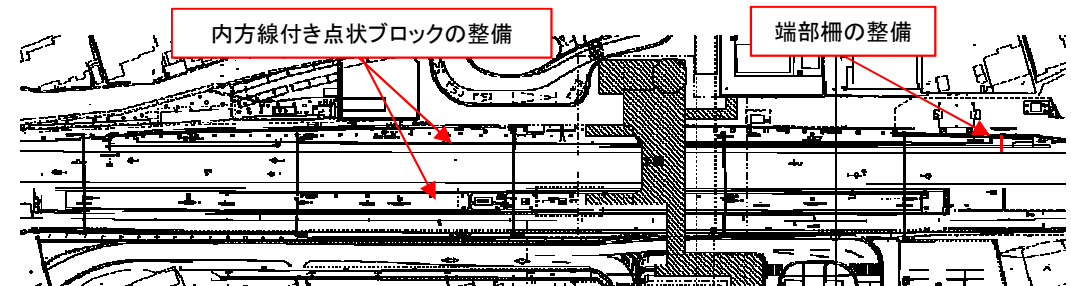


内方線付点字ブロック



端部柵整備

・事後評価: 計画通り実施が出来、お客様の安全性が向上した。



内方線付き点状ブロックの整備

端部柵の整備

←米原方

京都方→

04 ポストコロナを見据えた

受入環境整備促進事業

(交通サービス利便向上促進等事業)

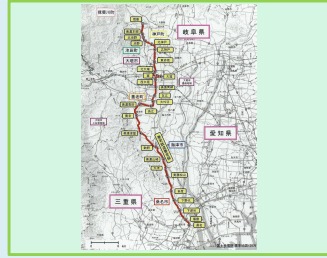
エレベーター、バリアフリースイレの整備等

※旧訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

(1) 一般社団法人養老線管理機構 養老線 池野駅 スロープ整備事業

[駅の概要]

所在地: 岐阜県揖斐郡池田町
 駅構造: 地上駅 2面ホーム(相対式)
 利用者数(令和4年度): 750人/日



[事業概要](事業期間: 令和4年度)
 バリアフリー対応スロープの新設

[活用補助メニュー]
 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

整備前

[課題]

- ホームと通路には段差がありスロープが設置されていたが、急勾配(1/10)で通行に支障をきたしていた。
- 急勾配のスロープは経年劣化による構造部材の腐食やひび割れ等が発生して、危険な状態であった。



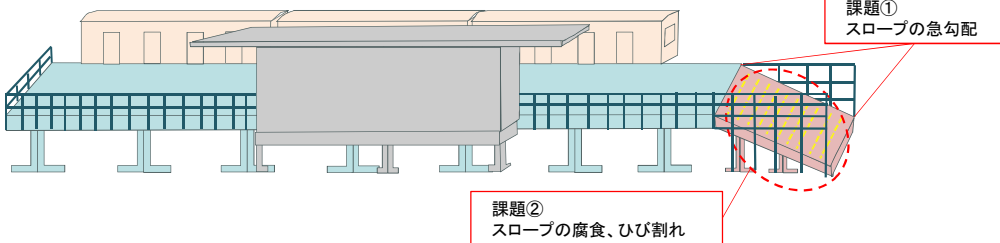
ホーム西側



ホーム用スロープ



待合とスロープ



課題①
スロープの急勾配

課題②
スロープの腐食、ひび割れ



西側構内踏切



ホーム北側



待合東側

整備後

[効果]

- ・バリアフリー基準に適合のスロープを北側に新設し、利便性と安全性を確保。
- ・スロープや階段には2段の手すりを設置し安全な誘導を図った。
- ・スロープの途中に階段を設置し、利便性の向上を図った。



新設スロープ
全景



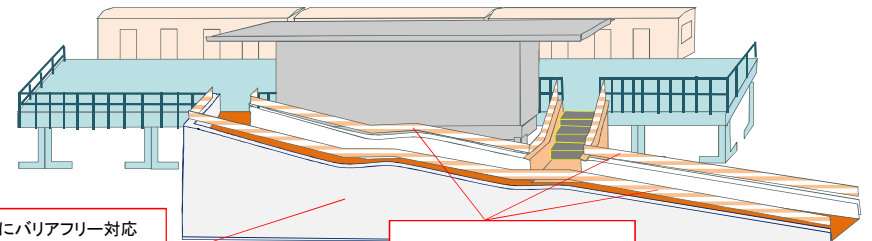
新設スロープ
上り口



新設スロープ
階段



新設スロープ
ホーム接続口



①北側にバリアフリー対応
スロープを新設し、利便性
と安全性が改善

②2段の手すりを新設し、利
用者の安全な誘導を確保

- ・駅利用者の利便性と安全性が改善された。
- ・障がい者が自立して利用できる駅ホームになった。
- ・スロープの途中に階段を設置し、より利用しやすい施設となった。

(2) JR九州 日豊本線 三股駅 スロープ整備事業

[駅の概要]

所在地: 宮崎県北諸県郡三股町

駅構造: 1面2線

乗車人員(令和4年度): 100人以上/日



[事業概要](事業期間: 令和4年度)

三股駅は、三股町の拠点となる駅であり、構内通路やスロープ等を整備することで駅利用者の利便性向上を図る。

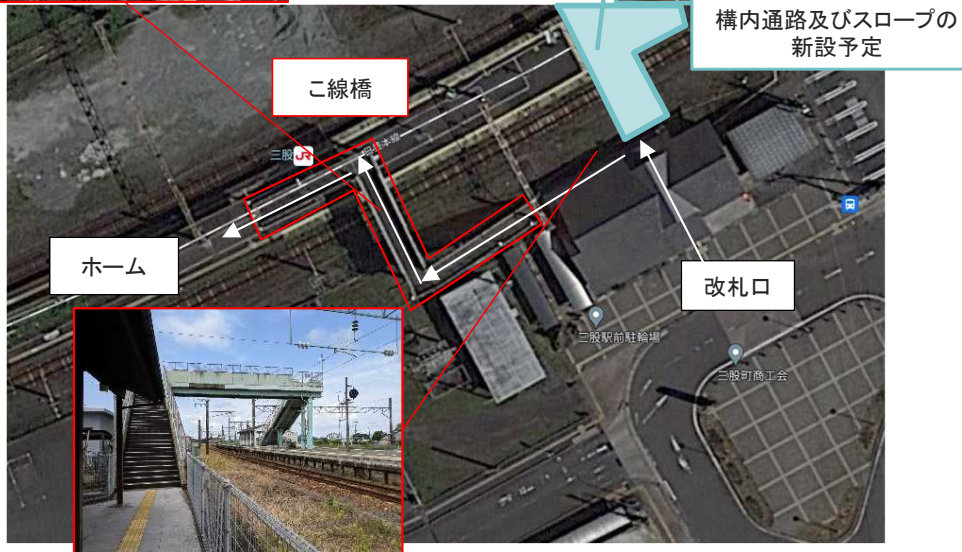
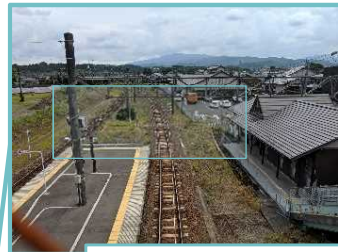
[活用補助メニュー]

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

整備前

[課題]

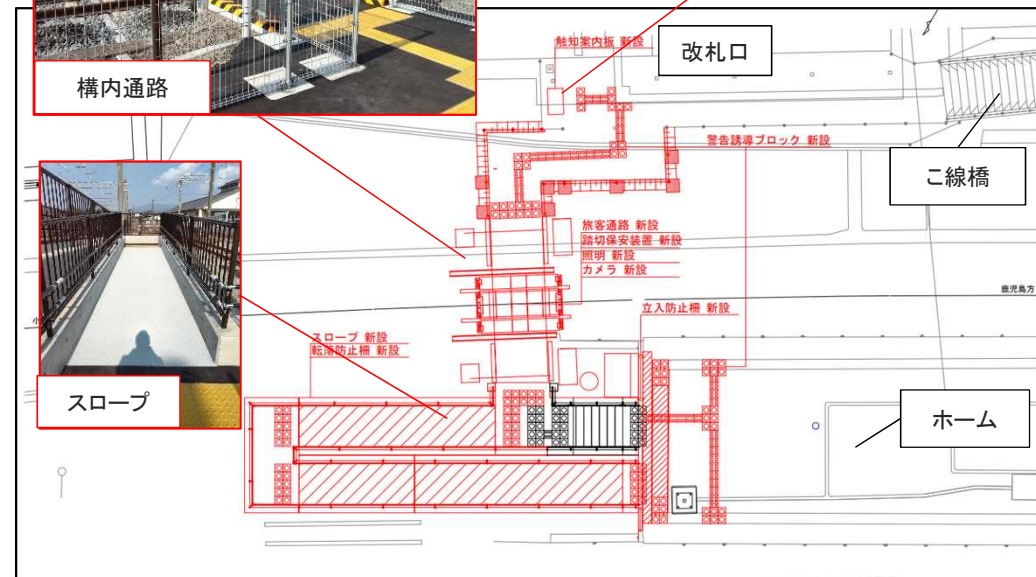
- ・駅改札口からホームまでこ線橋を渡る必要があり、段差未解消。
- ・触知案内板等による駅構内の案内が未整備。



整備後

[効果]

- ・構内通路及びスロープを新設し、段差解消を実施。
(踏切・踏切保安装置・スロープ・監視カメラ・立ち入り防止柵)
- ・駅舎に触知案内板及び誘導ブロックを新設。



(3) 近畿日本鉄道 大阪線 法善寺駅 スロープ整備事業

[駅の概要(整備前)]

所在地:大阪府柏原市

駅構造:2面2線の地下駅舎

利用者数(令和4年度):3,555人/日



[事業概要](事業期間:令和3年度~令和4年度)

改札口を地下の1箇所から、上下ホームに直接通ずる地上の2箇所へと変更し、スロープを設置することで駅をバリアフリー化した。

[活用補助メニュー]

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

整備前

※平成31年3月 バリアフリー基本構想策定

[課題]

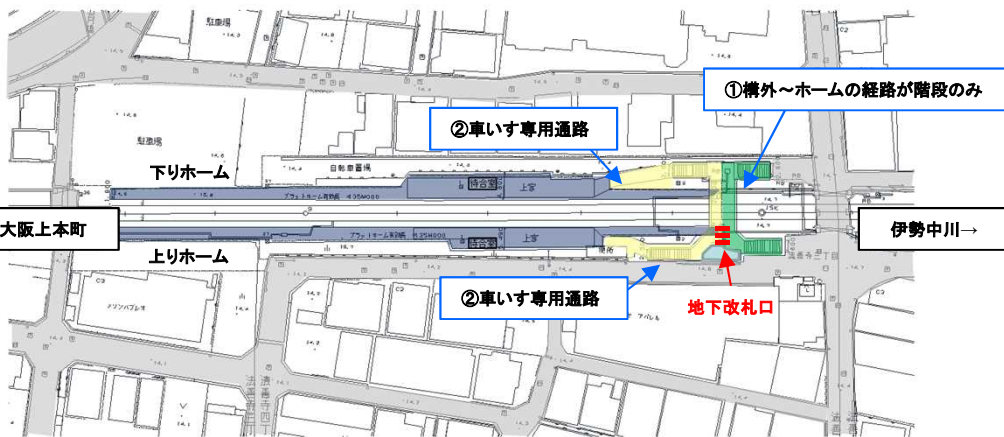
- ①構外から地下改札口を経由してホームに行く経路が階段のみ
- ②車いすご利用者用のスロープが別途あるが係員の呼び出しが必要



地下改札口



車いす専用通路



整備後

[効果]

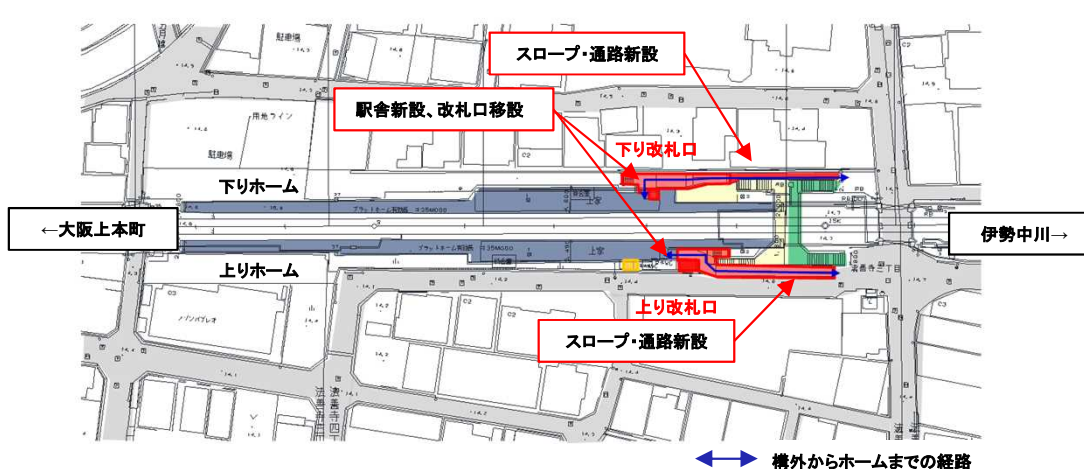
- ・各ホームに直接通ずる改札口を設置し、改札口までの経路にスロープを設置することで、駅をバリアフリー化した。



上りホームスロープ入口



下りホームスロープ入口



(4) 阪神電気鉄道 神戸高速線 大開駅 エレベーター等整備事業

[駅の概要]

所在地: 兵庫県神戸市

駅構造: 2面2線の地下駅

利用者数(令和4年度): 4,857人/日



[事業概要] (事業期間: 令和元年度～令和3年度)
東改札口に構内エレベーター2基、構外エレベーター1基、
バリアフリートイレを整備しバリアフリー化を図る。

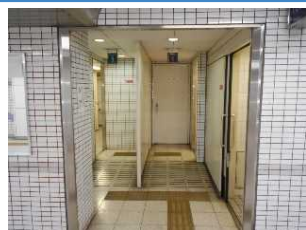
[活用補助メニュー]

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金
地域公共交通確保維持改善事業費補助金

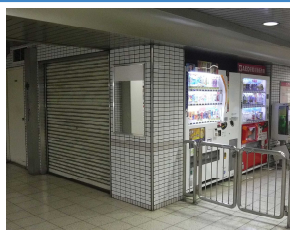
整備前

[課題]

- ・エレベーター及びバリアフリートイレが未整備であった。



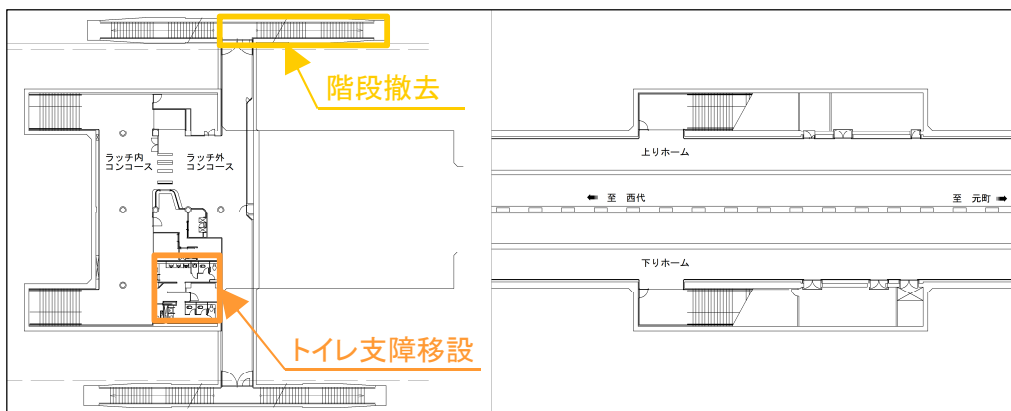
旅客トイレ



構内EV設置予定箇所



構外EV設置予定箇所



地下コンコース階平面図

地下ホーム階平面図

整備後

[効果]

- ・エレベーター(構内2基、構外1基)の設置、バリアフリートイレを旅客トイレに併設して新設することで利便性が向上。
- ・年配のお客様や乳幼児連れのお客様から「利用が便利になった」等のご意見をいただいている。



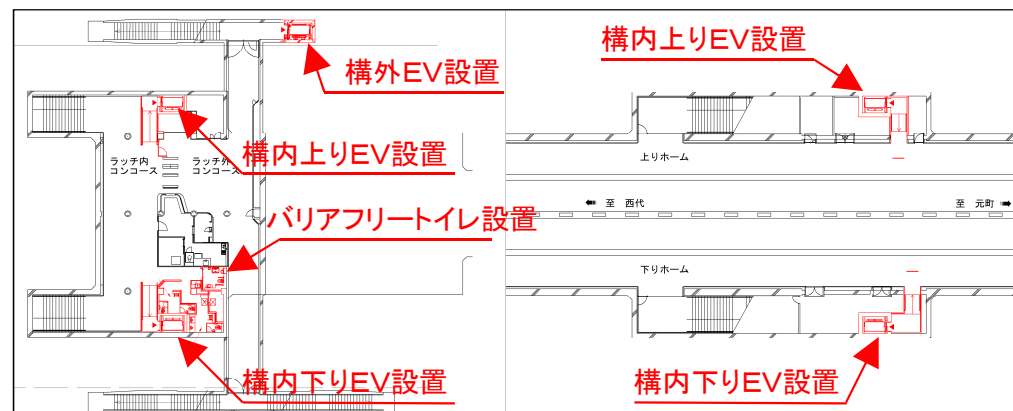
バリアフリートイレ



構内EV(B1階)



構外EV(地上階)



地下コンコース階平面図

地下ホーム階平面図

(5) JR西日本 播但線 福崎駅 エレベーター等整備事業

[駅の概要]

所在地: 兵庫県神崎郡福崎町

駅構造: 2面3線の地上駅

利用者数(令和4年度): 2,890人/日



[事業概要](事業期間: 令和2年度~令和4年度)

既存跨線橋にEVを設置することにより利用者の利便性向上を、内方線付き点状ブロック整備や背面フェンス・端部柵等の整備による安全性向上を図る。

[活用補助メニュー]

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金
地域公共交通確保維持改善事業費補助金

整備前

[課題]

- 改札のある1番のりばと2・3番のりばを結ぶ跨線橋はあるが、段差解消されていない。
- 一部ホームの背面フェンスと端部柵が整備していない。
- ホームの点字ブロックが既存不適格で、内方線が整備されていない。



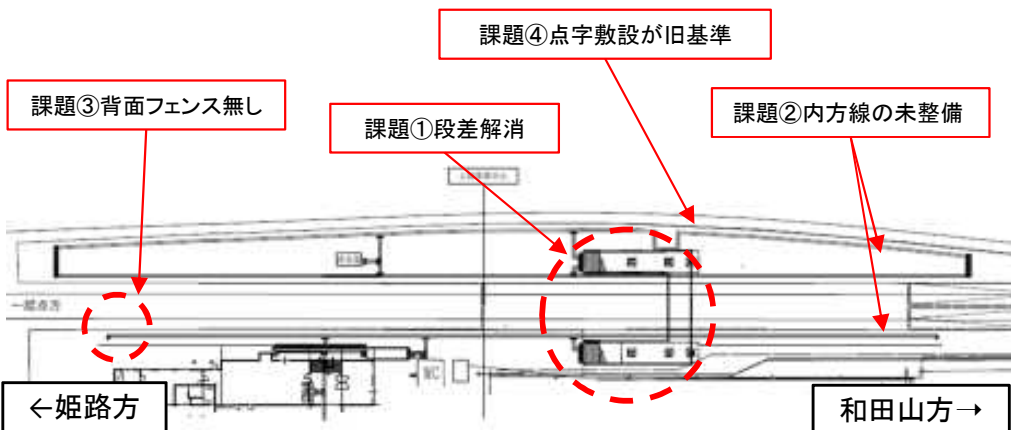
既存跨線橋



1番のりば(姫路方) フェンス未整備



点字ブロック (既存不適格)



整備後

[効果]

- EVによる段階解消、階段手摺の2段手摺化により利便性が向上。
- 背面フェンスと端部柵により転落リスクの低減が図られ、安全性が向上。
- 内方線付き点状ブロック整備、敷設位置の変更により、視覚障害者がホーム上での位置を認識しやすくなり、安全性が向上。



跨線橋へのEV整備 (11人乗、一般形)

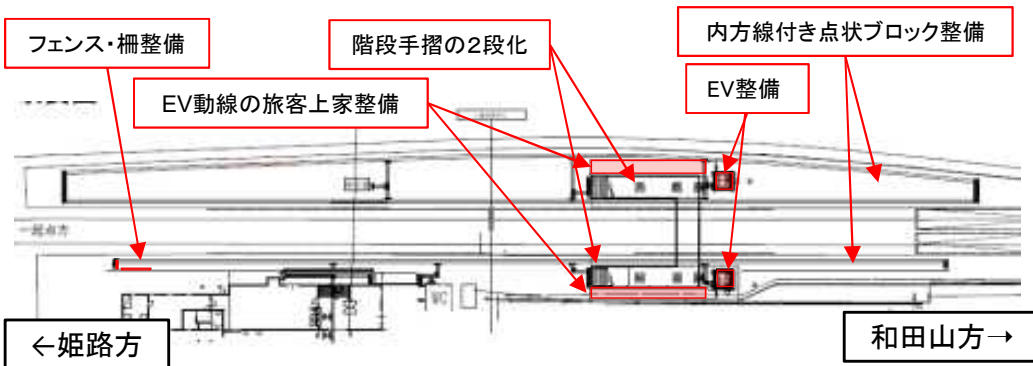


1番のりば(姫路方) 背面フェンス・端部柵



点字ブロック 内方線・JIS化

・事後評価: 計画通り実施し、お客様の利便性・安全性が格段に向上。



05 観光振興事業

(公共交通利用環境の革新等事業)

エレベーター、バリアフリースイアの整備等

※外国人旅行者のニーズが特に高い多言語対応等とあわせた整備に限る

(1) あいの風とやま鉄道 あいの風とやま鉄道線 滑川駅 エレベーター整備事業

なめりかわ

[駅の概要]

所在地: 富山県滑川市

駅構造: 2面3線の地上駅

利用者数(令和4年度): 2,530人/日



[事業概要] (事業期間: 令和2年度～令和4年度)

富山県東部の広域観光を推進するため、滑川駅にエレベーターを設置することで、訪日外国人旅行者の受入体制の強化と満足度向上を図る。

[活用補助メニュー]

観光振興事業費補助金

整備前

[課題]

- エレベーターが未整備のため、大きな荷物を持った旅行者や高齢者等にとって移動が困難であるとともに、車椅子での移動ができない。



跨線橋(泊方面側)



跨線橋側面(1番線側)



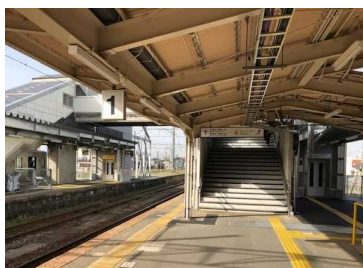
跨線橋側面(3番線側)



整備後

[効果]

- エレベーターの整備により利用者の移動円滑化が図られ、供用開始以降、滑川を訪れる旅行者や階段の昇降が困難な方など、多くの方にエレベーターをご利用いただいている。



跨線橋(泊方面側)



跨線橋側面(1番線側)



跨線橋側面(3番線側)



[事業概要詳細]

- エレベーター整備、ホーム嵩上げ、列車停車位置変更 等

(2) 山陽電気鉄道 本線 中八木駅 スロープ等整備事業

[駅の概要(整備前)]

所在地: 兵庫県明石市

駅構造: 2面2線の地上駅

利用者数(令和4年度): 2,810人/日



[事業概要](事業期間: 令和2年度~令和3年度)

- ・段差解消のためスロープ2箇所と改札口1箇所の整備、バリアフリートイレ1箇所の整備を行う。
- ・案内標識の多言語化を実施する。

[活用補助メニュー]

観光振興事業費補助金

整備前

[課題]

- ・上りホームの利用者は階段のみの地下道を利用せざるを得ない。
- ・上りホームにはトイレが無い。
- ・改札口前のスロープがバリアフリーガイドラインの標準的な整備内容に不適合。



下りホーム(改札口・地下道)

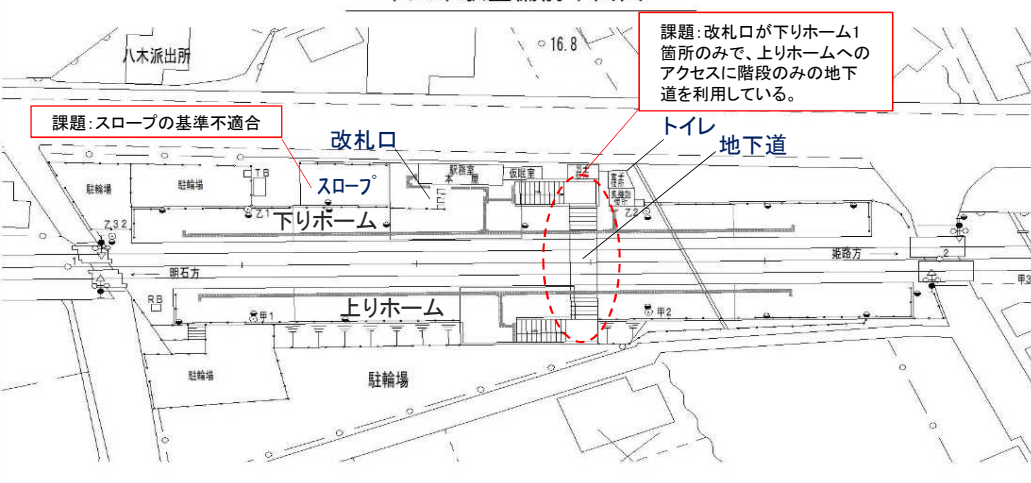


地下道(上りホーム)



上りホーム

中八木駅整備前平面図



整備後

[効果]

- ・上りホーム側にスロープ・改札口を新設し段差解消を図る。
- ・上りホーム側にバリアフリートイレを新設し利便性向上を図る。
- ・バリアフリートイレやスロープ・改札口等の施設整備にあわせ、多言語表記の案内サインを整備する。



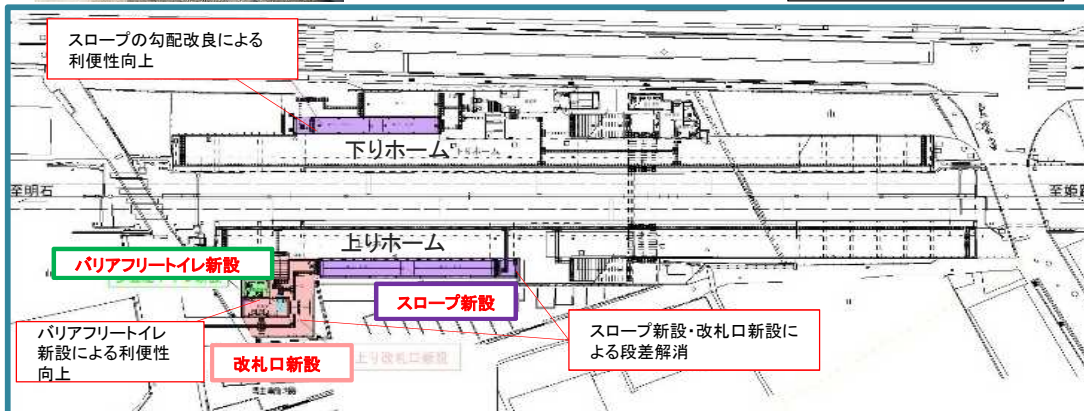
スロープ改良
(下り改札口前)



改札口・スロープ新設
(上りホーム側)



バリアフリートイレ新設
(上りホーム側)



・段差解消及び多言語化が実施され、訪日外国人旅行者が目的とする方向・施設へ、ストレスなく、スムーズに移動することが可能となった。

(3) 神戸新交通 六甲アイランド線 魚崎駅 バリアフリートイレ等整備事業

[駅の概要]

所在地: 兵庫県神戸市東灘区

駅構造: 2面2線の高架駅

利用者数(令和4年度): 10,953人/日



[事業概要](事業期間: 令和2年度)

バリアフリートイレ・洋式便器・券売機カウンター蹴込みのバリアフリー整備及び無料Wi-Fiの設置により利用者の利便性向上を図る。

[活用補助メニュー]

観光振興事業費補助金

整備前

[課題]

- ・バリアフリートイレ(車椅子使用者用等)の未整備。
- ・男子トイレと女子トイレの一部が和式。
- ・券売機カウンターが車椅子使用者に対する、バリアフリーガイドラインの標準的な整備内容に不適合。

整備後

[効果]

- ・バリアフリートイレ(2箇所)の設置により、車椅子使用者等への使用利便性向上を図る。
- ・洋式便器変更に伴い、利用者の利用性向上を図る。
- ・券売機カウンターの設置により、車椅子利用者の利用性向上を図る。



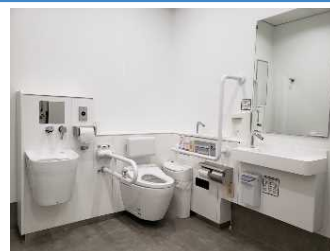
男子大便器



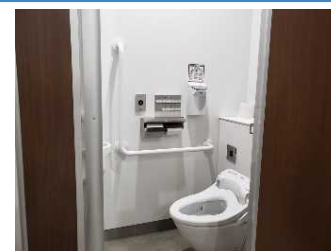
男子和式便器



券売機カウンター



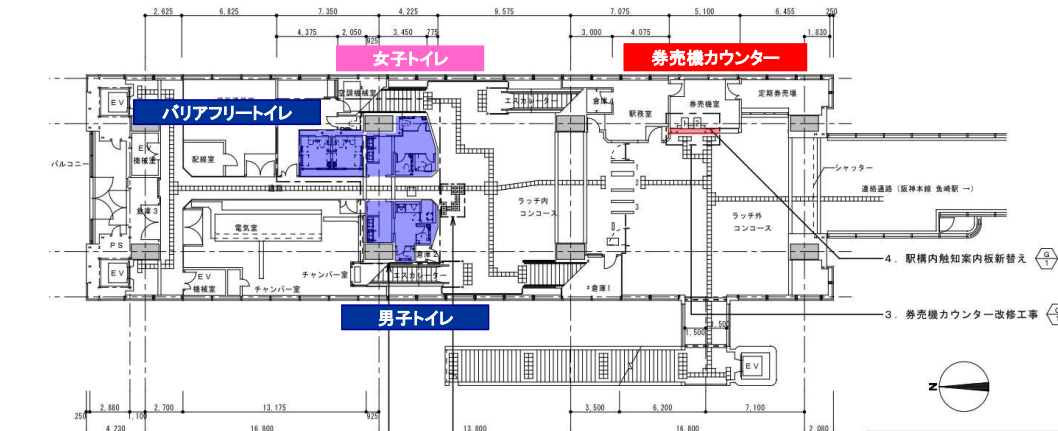
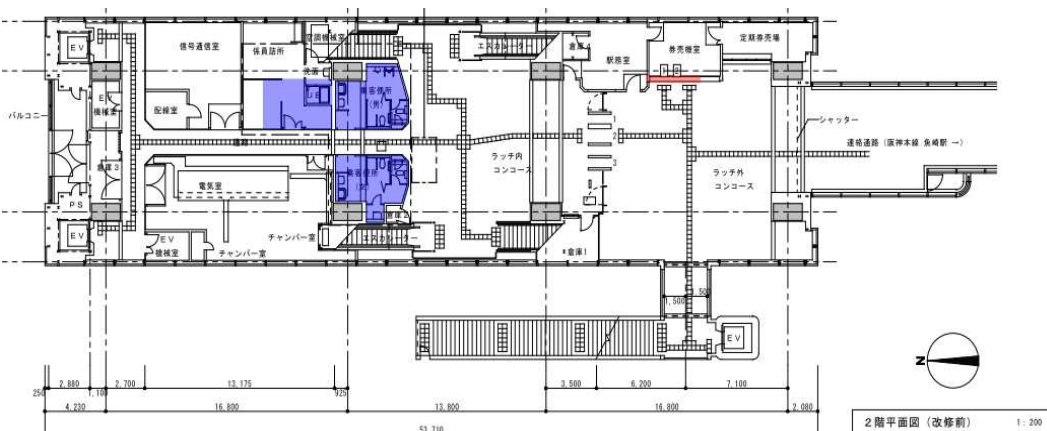
バリアフリートイレ



男子洋式便器



券売機カウンター



(4) 神戸電鉄 有馬線 花山駅 スロープ等整備事業

[駅の概要]

所在地:兵庫県神戸市

駅構造:2面2線の地上駅

利用者数(令和4年度):2,961人/日



[事業概要](事業期間:令和元年度~令和4年度)
 駅舎美装化工事【神戸市鉄道駅再整備事業】と併せて、スロープおよび簡易案内端末を設置し、駅の安全性および利便性の向上を図った。

[活用補助メニュー]
 観光振興事業費補助金
 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金

整備前

[課題]

①バリアフリーガイドラインに基づく、移動円滑化経路が確保出来ていない。

[別事業]

- ②無人駅であるため、聴覚障害者、訪日外国人とのコミュニケーションツールが必要。
- ③旅客トイレがバリアフリーガイドラインの標準的な整備内容に不適合。
- ④駅舎の老朽化が進行。(築57年:令和4年時点)

バリアフリー化事業



上りホーム



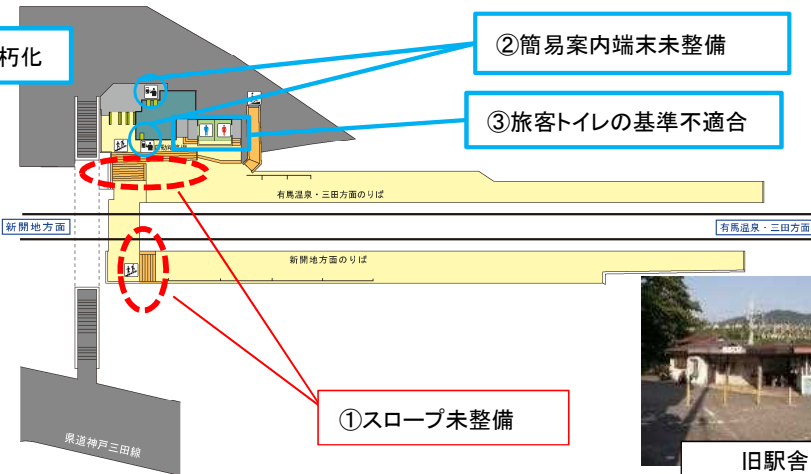
下りホーム

④駅舎の老朽化

②簡易案内端末未整備

③旅客トイレの基準不適合

①スロープ未整備



旧駅舎

整備後

[効果]

- ・上下線にスロープを設置し、移動円滑化経路を確保した。
- ・券売機および精算機に簡易案内端末を設置し、聴覚障害者、訪日外国人の利便性が向上した。
- ・新駅舎と併せて地域交流の拠点となる駅前広場を整備したことにより、駅機能が向上した。

簡易案内端末の設置



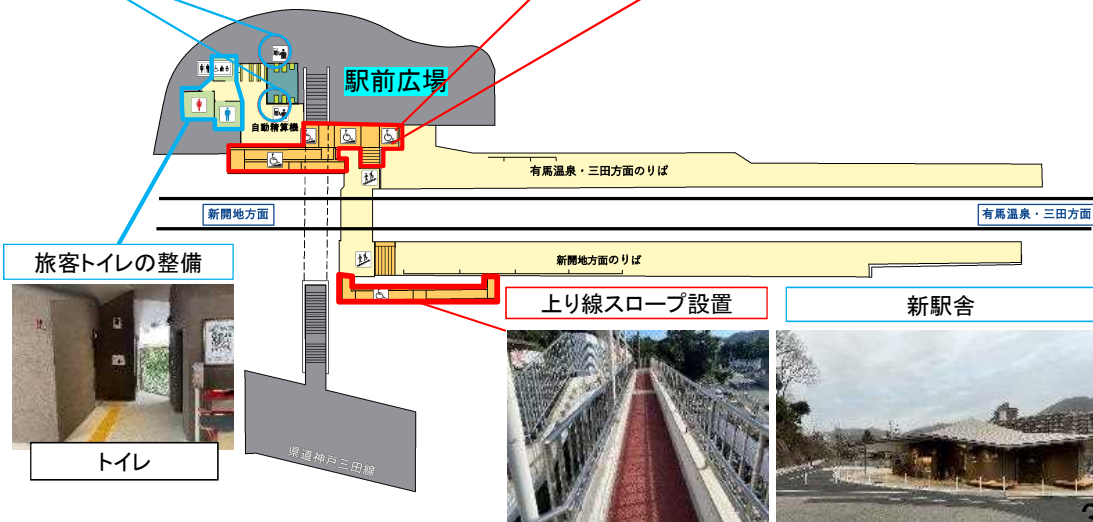
改札口

下り線スロープ設置



[事業概要]

- バリアフリー化事業
- ・上下線スロープ設置
- インバウンド対応事業
- ・簡易案内端末設置
- 鉄道駅再整備事業
- ・駅舎建替
- ・旅客トイレ整備
- ・駅前広場整備



旅客トイレの整備



トイレ

上り線スロープ設置



新駅舎

06 【参考】鉄道駅総合改善事業の概要

鉄道駅総合改善事業(次世代ステーション創造事業)

まちとの一体感があり、全ての利用者にやさしく、分かりやすく、心地よく、ゆとりある次世代ステーションの創造を図るため、地方自治体、鉄道事業者、地方運輸局等からなる協議会において策定された整備計画に基づき、ホームの拡幅等の駅改良、駅空間の高度化に資する施設(保育所、観光案内所等)、バリアフリー施設の整備に対して支援を実施。

補助対象事業 (事業メニュー)

駅改良であって、駅改良と併せて行う駅空間高度化機能施設又はバリアフリー施設の整備を支援

※鉄道駅バリアフリー料金制度の活用によるバリアフリー施設の整備は補助対象外

◎: 主要な事業

① 駅改良事業

◎ 駅改良(利用者の利便増進に資する改良※)

- ・橋上駅舎化
- ・改札口、通路新設等の乗換利便性向上
- ・ホーム・コンコース拡幅等の利便性向上等

※ホーム拡幅による混雑緩和、改札からホームへのアクセス性向上等

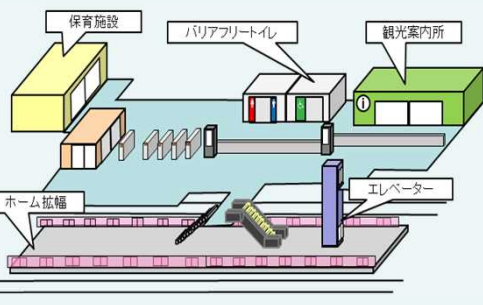
+

○ 駅空間高度化機能施設

- ・生活支援施設(保育所、病院等)
- ・観光案内施設等(観光案内所等)

○ バリアフリー施設

- ・エレベーター等



② バリアフリー事業

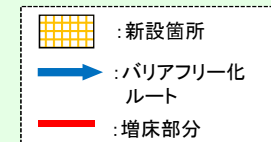
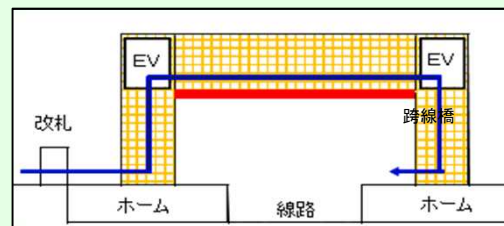
○ 駅改良(バリアフリー施設の整備に必要な改良)

- ・跨線橋、人工地盤等

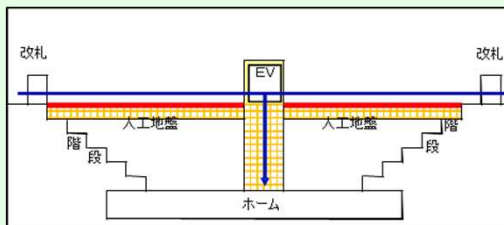
◎ バリアフリー施設

- ・エレベーター、ホームドア、多機能トイレ等

[跨線橋新設+エレベーター設置の例]



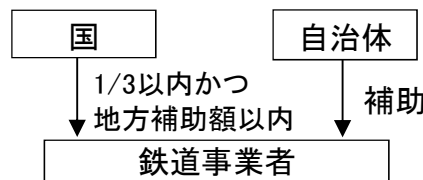
[人工地盤設置+エレベーター設置の例]



エレベーター

補助スキーム

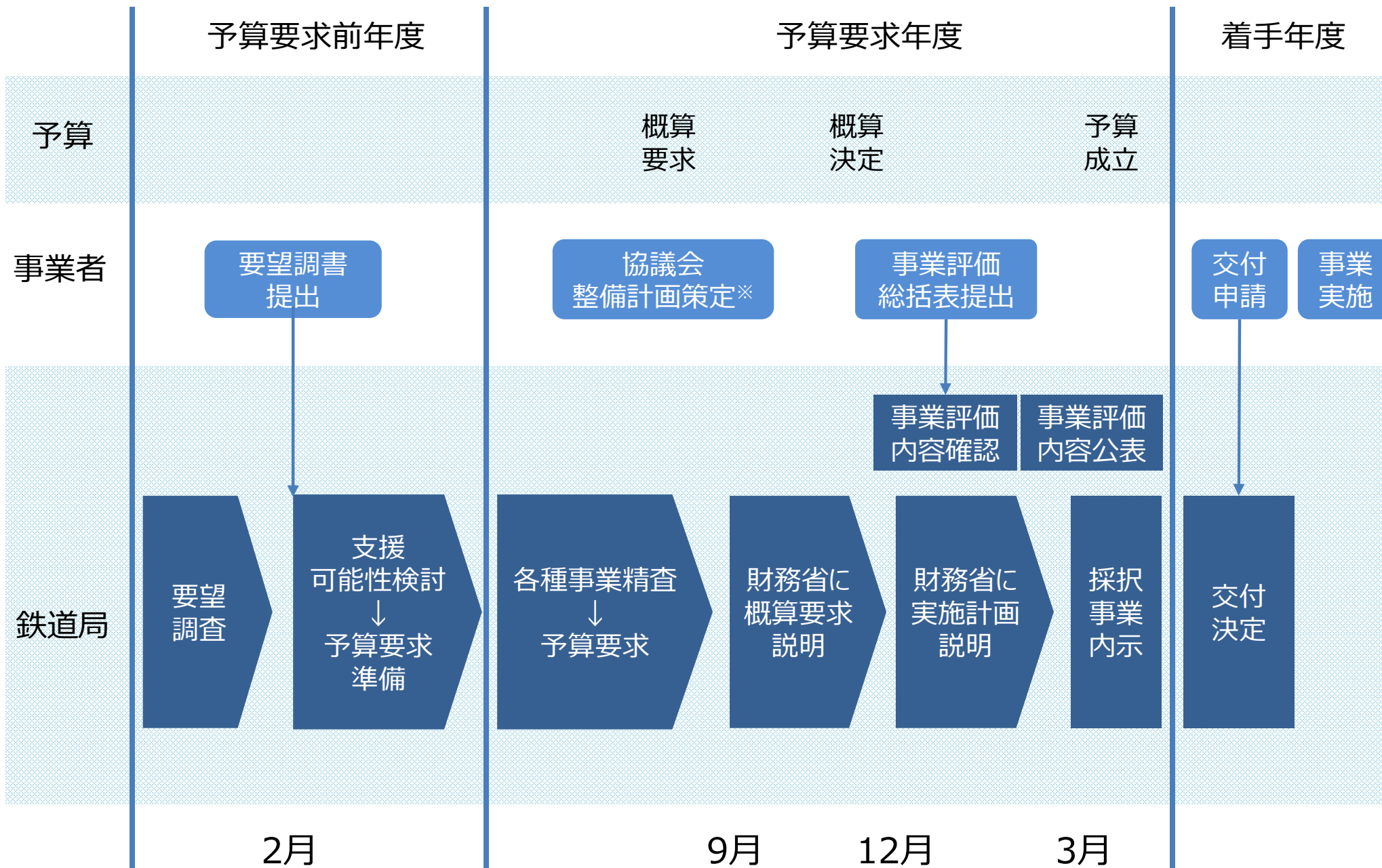
- (1) 地方自治体、鉄道事業者、地方運輸局等からなる協議会において整備計画を策定
- (2) 整備計画に基づき、鉄道事業者が、以下の事業を実施
 - ① 駅改良事業、② バリアフリー事業を実施



※②について、バリアフリー基本構想に位置づけられた鉄道駅は1/2以内(令和4年度～)

※対象駅の利用者数は要件としていない。

鉄道駅総合改善事業 支援の流れ(イメージ)



※ 地方公共団体、鉄道事業者、地方運輸局からなる協議会を立ち上げ、年度末までに整備計画を策定。

○ 既存施設も含めたバリアフリー整備の推進

- ・ 特定事業を設定することにより、既存施設についてもバリアフリー整備の義務化の対象となり、バリアフリー化を推進することが可能となる。

○ 公共施設等適正管理推進事業債（ユニバーサルデザイン事業）の活用

- ・ 基本構想に基づく公共施設等のバリアフリー改修事業等については、一定の要件のもと、公共施設等適正管理推進事業債におけるユニバーサルデザイン事業の対象となる。（充当率：90%、交付税措置率：30%（財政力に応じて最大50%まで引上げ））

対象事業

（総務省作成資料より）

- バリアフリー法に基づく公共施設等のバリアフリー改修事業やその他の公共施設等のユニバーサルデザイン化のための改修事業

<バリアフリー改修の例>

- ・ ・ ・ 車いす使用者用トイレ等の整備、出入口の段差解消、エレベーターの整備、視覚障害者誘導用ブロックの整備 等

<その他のユニバーサルデザイン改修の例>

- ・ ・ ・ 授乳室や託児室の整備、多言語による案内を行うための施設の整備、観光施設等における洋式トイレの整備 等

【事業イメージ】



デジタルサイネージの整備
事業費：数十万円～数百万円（1台）



多目的トイレの整備
事業費：400万円程度



出入口の段差解消
事業費：30万円程度

○ 公共交通特定事業計画に係る地方債の特例

- ・ 旅客施設におけるバリアフリー整備を公共交通特定事業に位置づけ、国庫補助金の交付対象となる場合に限り、当該事業に助成を行う場合に、地方財政法第5条の規定によらず、地方債の対象経費とすることができる。

○ バリアフリーマップ作成等の円滑化

- ・ 基本構想にバリアフリーマップの作成等について明記した場合、各施設の管理者等からバリアフリー化の状況等を報告させることができ、円滑な情報収集が可能となる。

対象施設

義務：旅客施設、特定道路

努力義務：特定路外駐車場、特定公園施設、特別特定建築物

情報提供の内容

エレベーターの有無、

障害者用のトイレや駐車施設の有無・数

等

○ 道路、公園等及び鉄道駅のバリアフリー化事業に対する交付金・補助金の重点配分

- ・ 道路事業や市街地整備事業、都市公園・緑地等事業等において歩行空間の整備や公園施設のユニバーサルデザイン化を図る場合、基本構想に位置づけられた地区は、社会資本整備総合交付金等の重点配分の対象となる。
- ・ 鉄道駅のバリアフリー化に関する補助制度について、基本構想に位置づけられた鉄道駅の事業は、補助金の補助率高上げの対象となる。

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に基づく移動等円滑化促進方針及び基本構想（※）の策定に要する調査経費を支援。

※バリアフリー法の改正により、基本構想に記載する事業メニューの一つとして、従来のハード整備に加え、心のバリアフリーに関する特定事業（教育啓発特定事業）を創設。公共交通特定事業（ハード整備）と併せて教育啓発特定事業（ソフト対策）を基本構想に位置づけ、ハード・ソフト一体となったバリアフリー化を推進する市町村を支援。

地域公共交通バリアフリー化調査事業（移動等円滑化促進方針策定事業、基本構想策定事業）

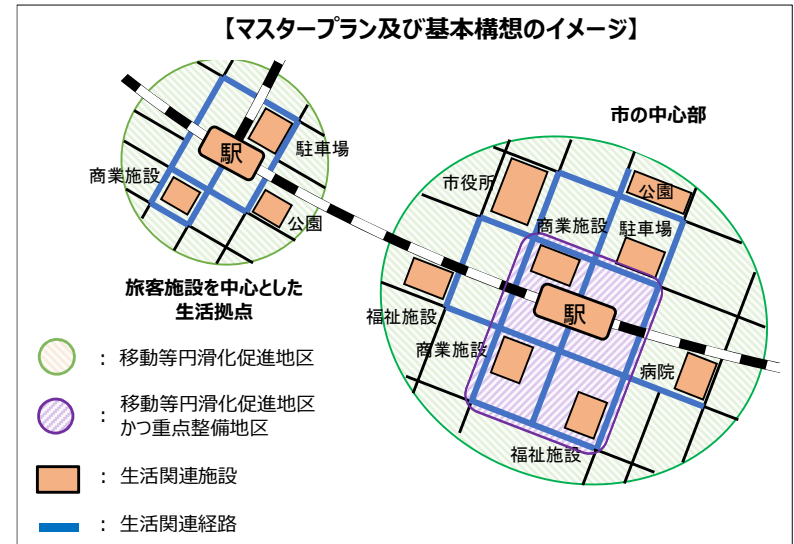
○補助対象者：市町村（ただし、バリアフリー法第24条の4第1項又は第26条第1項に規定する協議会の構成員）

○補助対象経費：地域におけるバリアフリー化の促進を図るための移動等円滑化促進方針又は基本構想（※）の策定に必要な調査経費

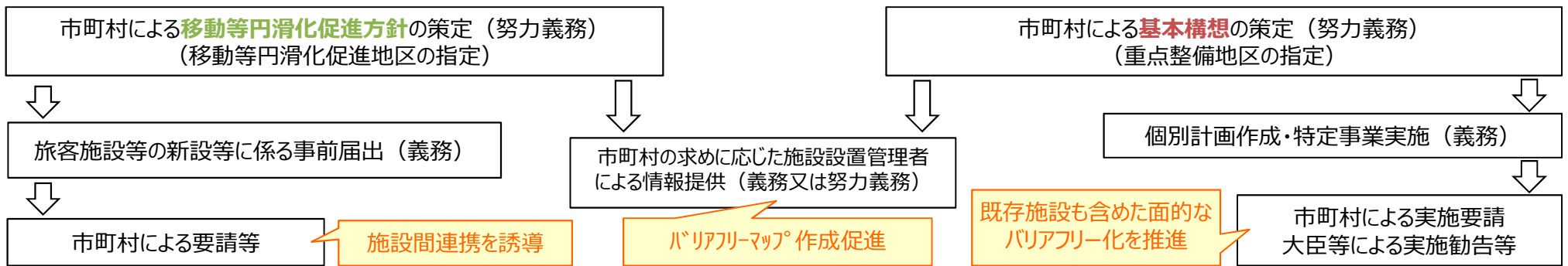
- ・ 協議会開催等の事務費
- ・ 住民・利用者アンケートの実施費用
- ・ 短期間の実証調査のための費用 等
- ・ 地域のデータの収集・分析の費用
- ・ 専門家の招聘費用

※基本構想については、公共交通特定事業（ホームドアの設置、ノンステップバスの導入等）に加え、心のバリアフリーに関する教育啓発特定事業（公共交通の利用疑似体験等）を位置づけ、ハード・ソフト一体的なバリアフリー化を目指すものに限る。

○補助率：1/2（上限500万円）



《移動等円滑化促進方針・基本構想制度の概要》



《参考資料》

- ・『移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン』 : http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000012.html
- ・『交付要綱・実施要領』 : http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html